

“見せる”基礎編

研修のねらい

- 多くの人の前で発表することが苦でなくなります。
- 上層部に対し、自信を持って説明ができるようになります。
- 政策提案などが承認されるようになります。

地方自治体は戦略的な行政運営のもとで真に重要な政策を選択し、その内容を分かりやすく住民に説明する政策責任の時代(「創発的責任: responsibility」+「説明的責任: accountability」)に突入し始めました。そのため、マネジメント(戦略的な事業展開)能力だけでなく、プレゼンテーション(相手の行動変容を導く)能力を身に付け、利害関係者(stake holder)を公共の一員としての自覚を持った市民(citizen)に変化させなければなりません。

この研修では、プレゼンテーションについて基礎を学び、職員が自信を持って、トップに対する政策内容説明、出前講座及び住民説明会などを実施できることをめざしています。

“魅せる”実践編

研修のねらい

- 住民を惹きつける出前講座ができるようになります。
- 効果的なプレゼンシート(パワーポイント)を作成できます。
- 分かりやすい説明とは何かを理解できるようになります。

自己決定、自己責任が問われる時代、多くの自治体が住民との協働を標榜しています。

この協働の機会が増大することで、ますます、住民の理解や合意を得なければならないことが多くなっています。

しかし、その住民は十人十色で理解力にも差があり、視覚や感性に訴える訴求力の高いプレゼンテーション能力が職員に求められています。現在、パワーポイントを中心としたデジタルプレゼンテーションの技術が向上し、視覚と感性に訴える訴求力の高いプレゼンテーションが可能になってきました。

この研修では、デジタルプレゼンテーションの基礎から実践までを体系的に学び、自信を持って出前講座や住民説明会などを実施できることをめざします。

※ 下記の内容は一例です。ご要望にあわせてカリキュラムをご提案いたします。

“見せる”基礎編(1日コース)	
午前	1. プレゼンテーション能力の必要性 (1) 3つのP (2) 行政責任と政策責任 (3) プレゼンテーション能力とは 2. プレゼンテーションとは (1) プレゼンテーションとは (2) プレゼンテーションの特徴 ◇ グループ討議 ◇
	3. プレゼンテーション成功の要件
	4. プレゼンテーションの道具 (1) プレゼンテーション・ツールの種類と特徴 (2) プレゼンテーション・シートの作成 5. 話し方とボディランゲージ (1) 話し方の技法 (2) ボディランゲージの技法 6. プレゼンテーションの手順 (1) 準備段階 (2) 始め方 (3) 内容説明 (4) 終わり方 ◇ グループ演習 ◇
午後	7. まとめ

“魅せる”実践編(1日コース)	
午前	1. プレゼンテーションとは何か (1) プレゼンテーションとは (2) プレゼンテーションの特徴 2. プレゼンテーション能力とは 3. 概念化能力(プレゼンテーション成功の要件1) (1) 概念化のツール: 図形思考 (2) 概念化のツール: システムモデル ◇ グループ討議 ◇ 「どのようにすれば人を説得できるのか」
	4. 説得する力(プレゼンテーション成功の要件2)
	5. デジタルプレゼンテーション: パワーポイント (1) パワーポイントの特徴 (2) 効果的な活用方法 ・ 活用場面と活用手法、手元資料、パワーポイントの相乗効果 (3) 環境設定 ・ パワーポイント上の環境設定、使用会場の環境設定 ◇ 事例研究 ◇ 「パワーポイントによる訴え方・その効果」
	6. まとめ
午後	